

別紙1 機器等の要求仕様

(1)ファイアウォール(2台)

例示品:シスコシステムズ合同会社 Cisco Secure Firewall 3120

ハードウェア	仕様
基本機能	管理外の端末から庁内ネットワークへのアクセスを防止するために、接続元IPやプロトコルによってアクセスを遮断する機能を有していること。
	端末と本調達機器の間をVPN接続(SSL-VPN及びIpssec)可能であること。
	本紙(2)に示すVPNソフトウェアを使用することで、本調達機器とクライアントソフトをインストールしたパソコンの間で、特定のプロトコルに依存しないフルトンネルVPN接続が可能であること。
VPN	6,000以上のVPN同時接続が可能であること。
	マルチプロトコル対応の設定で、ステートフルインスペクション機能を有効にした場合においても、5Gbps以上のスループットを実現可能であること。
インターフェース	1筐体あたりRJ45ポート × 8以上、SFP+ × 8以上のポートを有していること。
ネットワーク	県所有の既設L3スイッチと10GbEで接続可能であること。 本調達機器と既存L3スイッチを冗長で接続するため、「10Base-SR SFP+モジュール」を4つ以上付属すること。また、接続するケーブルとして、長さ10m以上のマルチモードで10GbE転送な光ファイバーケーブルを4本以上付属すること。
フォームファクタ	19インチラックにマウント可能で、1筐体あたり1U以下であること。また、ラックマウントするために必要となる部品がある場合は、必要数を付属すること。
同時セッション最大数	同時セッションの最大数は、400万セッション以上であること。
新規セッション最大数	1秒当たりの新規セッションの最大数は、17万セッション以上であること。
電源	1筐体内で電源が冗長されていること。また、ホットスワップ可能であること。
構成要件	仕様
冗長化	稼働中の本機に障害が発生した場合に備えて、2台でのロードバランスによる冗長化構成とすること。
アクセスルール	県が別途指示するアクセスルールを設定すること。 なお、ルール設定の要素となる「IPアドレス」等の要素は別途県が開示する。
セッションタイムアウト	VPN接続してから、県が別途指示する期間経過した後に強制的に接続を遮断可能な設定を行うこと。
保守	契約期間において、24時間365日対応のオンサイト保守が利用できるよう手続きおよび初期設定を行うこと。機器障害発生時は、保守部品が1時間以内に到着可能な場所に配備され、連絡を受けてから2時間以内に技術者が現地へ到着できる体制とすること。

(2)VPNソフトウェア

例示品:シスコシステムズ合同会社 Cisco Secure Client 6,000

ソフトウェア要件	仕様
基本機能	本紙(1)に示す機器と連携することで、クライアントソフトをインストールしたパソコンの間で、特定のプロトコルに依存しないフルトンネルVPN接続が可能であること。
	6,000ユーザが同時接続可能なライセンスであること。
拡張性	今後の拡張性を考慮し、WindowsOSだけでなく、以下のOSにもインストール可能であること。 ・ Mac OS ・ iOS(Apple iphone, iPad) ・ Android